

2020年度
地球環境科学部
環境システム学科
1年生ガイダンス



熊谷キャンパスには、聞こえに困難のある学生が皆さんと一緒に学んでいます。大学では90分間講義を受けますが、彼らはノートテイカーの支援があってはじめて、皆さんと同じようにその内容を知ることができます。

授業がない空きコマに、ともに学ぶ仲間の支援をしてくれるノートテイカーを募集します。



Q1:ノートテイクとはどういうものですか？

A1:講義で先生が話すことなどを、パソコンを使ったり、手書きで要約したりして、聞こえに困難のある学生に伝えることです。基本的には2人1組でサポートに入りますが、テイカーが足りないと1人で支援することもあります。

Q2:ノートテイクは、タイピングが早くないとできないでしょうか？

A2:タイピングの技術はある程度必要ですが、経験を重ねるうちに技術も向上していきます。自分が履修したことのある講義だと、内容を理解し要約しやすいため、テイクをしやすいと思います。授業の形式や内容によっては手書きのノートテイクが適しているものもあります。

Q3:ノートテイクはボランティアですか？

A3:有償ボランティアとしてお願いしています。謝礼として1コマあたり1000円分のクオカードをお渡ししています。障害学生支援室にテイカーとして登録し、勤務表の提出をしていただく必要があります。また、支援時間の多い学生は学部や学科で表彰されることもあります。

*** 地球環境科学部でノートテイクが必要な講義は以下の通りです。
斜線(/)のあるところは、同じ時間帯に開講される2つの科目でテイク
カーが必要ということです。**

*** ノートテイクに協力できる方、予定していたテイクカーが対応できない時のヘルプなら協力できるという方も含め、ノートテイクに関心のある学生さんは、テイクカー登録をお願いします。登録の方法は、ポータルサイトを通じてお知らせします。**

*** 下記の表以外に、社会福祉学科でもノートテイクを必要とする科目があります。詳しくは障害学生支援室にお問い合わせください。**

月	1	生物学の世界
	3	環境情報数学Ⅱ
	4	哲学Ⅰ
	5	セミナーP
火	1	人間活動と物質循環Ⅱ / 情報化社会と職業
	2	リモートセンシング / 固体地球環境化学
	3	セミナーL / 情報社会と倫理
	5	卒業研究指導C / 乾燥圏の環境
水	2	マップリーディング
	3	地理学概論
	4	キャリア開発講座ⅢB
木	2	博物館実習A
	3	防災地圏環境学
金	2	画像情報処理の基礎

♪ノートテイクに関する問い合わせはこちらまで♪

障害学生支援室 森下・桜井
ゲートプラザ1F（保健室隣）
開室日：月～金 10:00-17:00
E-mail : rdss.kc@ris.ac.jp



【地球環境科学部】 履修登録注意事項

- ・履修登録を行う際、端末での操作ミス等による変更は認めていませんので、登録内容に間違いがないか、必ず確認を行い、履修登録確認画面を写真に撮り保存してください。
- ・年間履修登録単位数の上限に含まれない科目は地球環境科学部講義案内の下に1ページ2ページと書かれている所を参照してください。環境システム学科の学生は30ページも参照してください。教職・博物館専用の科目も含まれません。ただし地理学科の社会科教育論Ⅰ・Ⅱと社会科・地理歴史教育論Ⅰ・Ⅱは年間履修登録単位数の上限に含まれます。地球環境科学部講義案内・学生要覧・全学部共通の注意事項など履修に関する注意事項を確認して下さい。
- ・履修登録を行なう際は前提条件・履修年次が満たされているかを必ず確認して下さい。満たされていない場合は登録画面に出てきません。前提条件は環境システム学科生は地球環境科学部講義案内p12-29, 地理学科生はp33を参照してください。環境システム学科生で基礎物理学（再履修）・基礎生物学（再履修）・基礎化学（再履修）・基礎地学（再履修）を履修する学生は2期の履修登録期間にならないと履修登録できません。
- ・履修登録は、履修登録期間中に登録を行ってください。特に最終日の終了時刻に注意すること。（詳細は新学期日程参照）
- ・1期集中科目は履修登録画面上で1期のタブを選択し集中のボタンを押すと表示されます。
- ・資格科目は「資格・その他の科目選択」から検索してください。
- ・4年生は「登録内容確認」画面で「進級卒業見込判定結果を表示する」ボタンを押すと卒業見込判定が行なえます。「卒業単位充足見込」の結果を必ず確認してください。※卒業見込が立たない（履修登録不備）と、「卒業見込証明書」は発行されません。
- ・集中講義の実施日については時間割の2ページ目でお知らせしています。
- ・既に単位を修得した科目は申請画面の選択肢に現れません。単位を修得済かどうかはポータルサイト「プロフィール」の「成績照会」で確認すること。
- ・5月9日の履修科目確定日に必ずポータルサイトで履修科目を必ず確認してください。履修登録されていない科目は履修しても単位は取得できません。

2020 年度 抽選科目について

2020 年度時間割科目のうち、クラス編成のために抽選を要する科目や、授業内容や設備の都合上、履修者数を制限する科目があり、これを「抽選科目」と呼びます。抽選科目についての詳細は、学部学科ガイダンスにて説明を行います。履修希望の科目が抽選対象であった場合、下記指定期間にパソコン等を利用して申請する必要があります。規定数を超える申請があった場合、抽選を行うことがあり、受講を許可された科目は自動的に履修登録されます。

なお、各学部の専門科目についての詳細を学部・学科ガイダンス等で案内いたしますので、ご注意ください。

＜抽選科目の履修登録期間＞

未定（決定次第ポータルサイトにてお知らせします）

【注意事項】

- 上記の期間に抽選科目の履修登録を行わない場合は、対象科目を履修できません。
- 年間履修登録単位数の上限は「**48 単位**」です。抽選科目も含まれますので、計画的に登録してください。
- 原則として「〇〇の言語と文化」はⅠとⅡを同時に履修登録してください（どちらかを過去に修得済みの場合を除く）。
- 指定された科目以外は 2 期科目であっても、**2 期の抽選科目申請期間では登録できません**。2 期科目の履修を希望する学生も 1 期の抽選科目申請期間に登録してください。
- 受講希望者が制限人数を超えた科目については抽選によって受講者を決定します。
- 登録結果はポータルサイト「**My 時間割**」にて発表します。結果発表日時は未定です。結果発表日時は決まり次第ポータルサイトにてお知らせします。抽選にもれた科目は受講できません。
- 受講を認められた科目は自動的に登録され、**いかなる場合も変更することはできません**。時間割をよく考えて申請してください。
- 定員に満たない場合は期間中の登録者全員が受講許可となります。ただし、抽選が発生しない場合も結果はポータルサイトにて掲出されますので、登録に誤りが無いか必ず確認してください。
- 履修登録を行う際、端末での操作ミス等による**変更・追加は認めていません**ので、申請内容に間違いがないか、必ず確認を行い、履修登録確認画面を写真に撮り、保存してください。
- 自分が所属するキャンパス以外の科目は登録できません。
- 対象科目については次頁を参照してください。ただし、**2020 年度は休講の可能性があるので**、ポータルサイトや大学メール、環境システム学科ホームページなどを定期的に確認してください。

以上

対 象 科 目					
教養的科目（地球環境科学部）					
番号	科目名	開講期	曜日	時限	担当教員
1	ドイツの言語と文化Ⅰ	1期	金	2	竹村 恭一郎
2	ドイツの言語と文化Ⅱ	2期	金	2	竹村 恭一郎
3	コリアの言語と文化Ⅰ	1期	水	4	金 娜玄
4	コリアの言語と文化Ⅱ	2期	水	4	金 娜玄
5	フランスの言語と文化Ⅰ	1期	土	1	岡本 健
6	フランスの言語と文化Ⅱ	2期	土	1	岡本 健
7	中国の言語と文化ⅠA	1期	水	1	賀 貝
8	中国の言語と文化ⅠB	1期	水	2	賀 貝
9	中国の言語と文化ⅡA	2期	水	1	賀 貝
10	中国の言語と文化ⅡB	2期	水	2	賀 貝
11	体育実技2	1期	月	1	金子 伊樹
12	体育実技4	2期	月	1	金子 伊樹
13	比較文学論	2期	木	1	吉村 純司
14	文学入門	1期	木	1	吉村 純司
15	統計学の基礎	1期	水	4	山口 忠利
資格科目（全学部対象）					
16	博物館実習Ⅳ（自然）A	1期	木	2	荒川 竜一・林 勉
17	博物館実習Ⅳ（自然）B	1期	木	3	荒川 竜一・林 勉
18	博物館実習〔考古〕／Ⅰ（考古）	1期	水	4	大澤 伸啓
19	博物館実習〔古文書〕／Ⅱ（古文書）	1期	土	3	阿由葉 司
20	施設見学実習3A／施設見学実習ⅢA	1期集中			阿由葉 司
21	施設見学実習3B／施設見学実習ⅢB	1期集中			阿由葉 司
地理学科専門科目					
22	地域調査法3	1期	火	4	松井 秀郎
23	地域調査法4	1期	火	1	貝沼 恵美
24	地域調査法6	1期	木	2	松尾 忠直
25	地域調査法9	1期	月	1	島津 弘
26	地域景観の保全と復原	2期	金	4	松尾・岡村
27	※地理情報システムの応用および実習	2期	火	1・2	原 美登里
28	地理情報システム論および実習	1期	火	1・2	鈴木 厚志
29	写真判読法および実習	1期	金	3・4	戸田 真夏
30	※地図表現と地図作成	2期	土	3	前島 勝憲
31	※地図画像処理論および実習	2期	火	4・5	原 美登里

※「地理情報システムの応用および実習」と「地図表現と地図作成」と「地図画像処理論および実習」は2期抽選科目登録期間での履修登録となります。1期の履修登録期間では登録できませんので、注意してください。

※上記3科目以外の2期科目は2期の抽選科目申請期間では登録できません。履修を希望する学生は1期の抽選科目申請期間に登録してください。

2020 年度 隔年開講科目一覧（専門的科目）

2020 年度 休講科目	2021 年度 休講科目【予定】
<p>セミナーの基礎N</p> <p>セミナーN</p> <p>卒業研究指導（卒業論文含む）N</p> <p>環境経済学</p> <p>環境分析化学</p> <p>気候変動論</p> <p>大気環境シミュレーション</p> <p>都市大気環境</p> <p>水文環境シミュレーション</p> <p>生物圏の保全</p> <p>環境流体力学</p> <p>水資源と水利用</p> <p>熱帯圏の環境</p>	<p>人間活動と物質循環Ⅱ（生物生産と生物圏の物質循環）</p> <p>環境同位体化学</p> <p>微気象学</p> <p>大気環境モニタリング</p> <p>温暖化と酸性雨</p> <p>水文環境モニタリング</p> <p>国際環境問題</p> <p>海洋環境学</p> <p>環境化学実験</p> <p>乾燥圏の環境</p>
2020 年度 開講科目	2021 年度 開講科目【予定】
<p>人間活動と物質循環Ⅱ（生物生産と生物圏の物質循環）</p> <p>環境同位体化学</p> <p>微気象学</p> <p>大気環境モニタリング</p> <p>温暖化と酸性雨</p> <p>水文環境モニタリング</p> <p>国際環境問題</p> <p>海洋環境学</p> <p>環境化学実験</p> <p>乾燥圏の環境</p>	<p>環境経済学</p> <p>環境分析化学</p> <p>気候変動論</p> <p>大気環境シミュレーション</p> <p>都市大気環境</p> <p>水文環境シミュレーション</p> <p>生物圏の保全</p> <p>環境流体力学</p> <p>水資源と水利用</p> <p>熱帯圏の環境</p>

環境システム学科 環境科学アドバンスト科目の受講を目指した生物・地球コースおよび気象・水文コースの履修モデル(環境情報学に興味がある場合)

太字・下線は必修科目

区分		1年	2年	3年	4年	計
		科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
教養的科目	フレッシュヤーズ科目群	<u>学修の基礎Ⅰ(環シス)</u> <u>学修の基礎Ⅱ(環シス)</u> <u>情報処理の基礎(環シス)</u> <u>基礎英語Ⅰ(環シス)</u> <u>基礎英語Ⅱ(環シス)</u> 10				10
	一般教育科目群	一般教育科目群から6科目12単位選択必修				12
	外国語コミュニケーション科目群	2	10			
	スポーツと健康科目群	外国語コミュニケーション科目群・スポーツと健康科目群・ キャリア形成科目群から3科目6単位選択必修				
	キャリア形成科目群					
専門的科目	必修科目	必修実習	<u>環境調査の基礎および実習</u> 2			2
		自然科学の基礎	<u>基礎数学</u> <u>基礎物理学</u> <u>基礎化学</u> <u>基礎生物学</u> <u>基礎地学</u> 10			10
		環境科学の基礎	<u>各コースの「環境科学の基礎」を1科目2単位選択</u> 2			2
		環境科学概論	<u>各コースの環境科学概論を3科目6単位選択</u> 6			6
		情報基盤科目		<u>空間情報システムの基礎</u> <u>環境統計学</u> 4		4
		フィールドワーク		<u>フィールドワーク</u> 2		2
		セミナーの基礎		<u>セミナーの基礎</u> 2		2
		セミナー		<u>セミナー</u> 4		4
		卒業研究 (卒業論文含む)			<u>卒業研究指導</u> (卒業論文含む) 4	4
	専門基礎科目A群	学部共通科目		ジョインフォマティクス リモートセンシング	情報文化と知的所有権 情報社会と倫理 専門基礎科目A群学部共通科目から1科目2単位選択 6	10
		学科共通科目			リモートセンシング実習 環境情報処理実習 4	4
	専門基礎科目B群	生物	「〇〇学Ⅰ・〇〇学実験」を1セットとし生物・物理・化学・地学の中より4科目8単位 8	〇〇学Ⅱ 2		
		物理				
		化学				
		地学				10
	専門科目A群	情報		環境情報数学Ⅰ 2	プログラミングの基礎 マルチメディア表現技術 4	6
		環境気象学 環境水文学 環境生物学 環境地学		コースに応じて環境気象学・環境水文学・環境生物学・環境地学領域から 1領域8単位選択 4		8
		環境情報学		情報システムの構築と応用 2	環境情報数学Ⅱ 画像情報処理の基礎 空間情報システム実習 6	8
	専門科目B群	環境〇〇学特論		コースに応じて環境気象学特論・環境水文学特論・ 環境生物学特論・環境地学特論領域から1領域		
		環境情報学特論		環境情報数学演習Ⅰ 2	プログラミングの応用 環境情報数学演習Ⅱ 4	6
	専門科目C群	発展学科共通科目		情報通信ネットワーク特論 情報通信ネットワーク実習 情報産業史 6	情報化社会と職業 シミュレーション技術 4	10
		発展学部共通科目				
		環境科学アドバンスト科目		環境情報学アドバンスト 2		2
	自由選択科目	「環境科学の基礎にて選択しなかった〇〇の科学」および「環境科学概論にて選択しなかった〇〇学概論」3科目6単位 6				6
計		48	50	32	4	134

環境システム学科 生物・地球コースおよび気象・水文コースの履修モデル(環境情報学に興味がある場合)

太字・下線は必修科目

区分		1年	2年	3年	4年	計
		科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
教 育 的 科 目	フレッシュヤーズ科目群	<u>学修の基礎Ⅰ(選シス)</u> <u>学修の基礎Ⅱ(選シス)</u> <u>情報処理の基礎(選シス)</u> <u>基礎英語Ⅰ(選シス)</u> <u>基礎英語Ⅱ(選シス)</u> 10				10
	一般教育科目群	一般教育科目群から6科目12単位選択必修 2	10			12
	外国語コミュニケーション科目群	外国語コミュニケーション科目群・スポーツと健康科目群・ キャリア形成科目群から3科目6単位選択必修				
	スポーツと健康科目群					
	キャリア形成科目群					6
専 門 的 科 目	必修科目	必修実習	<u>環境調査の 基礎および実習</u> 2			2
		自然科学の基礎	<u>基礎数学</u> <u>基礎物理学</u> <u>基礎化学</u> <u>基礎生物学</u> <u>基礎地学</u> 10			10
		環境科学の基礎	<u>各コースの「環境科学の基礎」 を1科目2単位選択</u> 2			2
		環境科学概論	<u>各コースの環境科学概論を3科 目6単位選択</u> 6			6
		情報基盤科目		<u>空間情報システムの基礎</u> <u>環境統計学</u> 4		4
		フィールドワーク		<u>フィールドワーク</u> 2		2
		セミナーの基礎		<u>セミナーの基礎</u> 2		2
		セミナー		<u>セミナー</u> 4		4
		卒業研究 (卒業論文含む)			<u>卒業研究指導 (卒業論文含む)</u> 4	4
	専門基礎科目 A群	学部共通科目	ジョインフォマティクス 情報文化と知的所有権 4	リモートセンシング 情報社会と倫理 専門基礎科目A群学部共通科 目から1科目2単位選択 6		10
		学科共通科目			リモートセンシング実習 環境統計学実習 環境情報処理実習 6	6
	専門基礎科目 B群	生物	〇〇学Ⅰ 〇〇学実験 4	〇〇学Ⅱ 2		
		物理				
		化学				
		地学				6
		情報		環境情報数学Ⅰ マルチメディア表現技術 4	プログラミングの基礎 2	6
	専門科目 A群	環境気象学 環境水文学 環境生物学 環境地学		コースに応じて環境気象学・環境水文学・環境生物学・環境地学領域から 1領域8単位選択 4 4		8
		環境情報学		環境情報数学Ⅱ 情報システムの構築と応用 画像情報処理の基礎 6 2	空間情報システム実習 2	8
	専門科目 B群	環境〇〇学特論		コースに応じて環境気象学特論・環境水文学特論・ 環境生物学特論・環境地学特論領域から1領域 2		
		環境情報学特論		環境情報数学演習Ⅰ 2	プログラミングの応用 環境情報数学演習Ⅱ 4	6
	専門科目 C群	発展学科共通科目		情報化社会と職業 情報通信ネットワーク特論 4	シミュレーション技術 情報通信ネットワーク実習 情報産業史 6	10
		発展学部共通科目				
		環境科学アドバンスト科目		4		
	自由選択科目		「環境科学の基礎」にて選択しな かった〇〇の科学」および「環 境科学概論」にて選択しなかつ た〇〇学概論」3科目6単位 6			6
計			48	48	22	130

環境システム学科 環境科学アドバンスト科目の受講を目指した気象・水文コースの履修モデル(環境気象学に興味がある場合)

太字・下線は必修科目

区分		1年	2年	3年	4年	計			
		科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数				
教養的科目	フレッシュャーズ科目群	学修の基礎Ⅰ(環シス) 学修の基礎Ⅱ(環シス) 情報処理の基礎(環シス) 基礎英語Ⅰ(環シス) 基礎英語Ⅱ(環シス) 10				10			
	一般教育科目群	一般教育科目群から6科目12単位選択必修				12			
	外国語コミュニケーション科目群	外国語コミュニケーション科目群・スポーツと健康科目群・ キャリア形成科目群から3科目6単位選択必修							
	スポーツと健康科目群								
	キャリア形成科目群								
専門的科目	必修科目	必修実習	環境調査の 基礎および実習 2	2		6			
						2			
		自然科学の基礎	基礎数学 基礎物理学 基礎化学 基礎生物学 基礎地学 10				10		
		環境科学の基礎	気象と水の科学 2				2		
		環境科学概論	環境気象学概論 環境水文学概論 環境情報学概論 6				6		
		情報基盤科目		空間情報システムの基礎 環境統計学 4			4		
		フィールドワーク		フィールドワーク 2			2		
		セミナーの基礎		セミナーの基礎 2			2		
		セミナー		セミナー 4			4		
	卒業研究 (卒業論文含む)				卒業研究指導 (卒業論文含む) 4	4			
	専門基礎科目 A群	学部共通科目	専門基礎科目A群学部共通科目から5科目10単位以上選択必修			4	10		
		学科共通科目	専門基礎科目A群学科共通科目から2科目4単位選以上択必修				4		
	専門基礎科目 B群	物理	物理学Ⅰ 物理学実験 4	物理学Ⅱ 2	2		6		
		化学	〇〇学Ⅰ 〇〇学実験 4	〇〇学Ⅱ					
		生物							
		地学							
		情報					6		
	専門科目 A群	環境気象学	気候・気象学 総観気象学 大気大循環論 環境気象学実習 8				8		
		環境水文学	環境水文学・環境情報学領域から 1領域8単位選択				8		
		環境情報学	2	6					
	専門科目 B群	環境気象学特論	気候変動論 大気環境シミュレーション 都市大気環境 6	微気象学 大気環境モニタリング 温暖化と酸性雨 6			12		
		環境水文学特論		環境水文学特論・環境情報学特論領域から 専門科目A群と同じ1領域6単位選択			6		
		環境情報学特論							
	専門科目 C群	発展学科共通科目	発展学科共通科目/発展学部共通科目から 3科目6単位以上選択						
		環境科学アドバンスト科目	環境気象学アドバンスト 2	6		8			
	自由選択科目		生物と大地の科学 環境生物学概論 地圏環境学概論 6				6		
計					48	50	36	4	138

環境システム学科 気象・水文コースの履修モデル(環境気象学に興味がある場合)

太字・下線は必修科目

区分		1年	2年	3年	4年	計
		科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
教養的科目	フレッシュヤーズ科目群	<u>学修の基礎Ⅰ(選シス)</u> <u>学修の基礎Ⅱ(選シス)</u> <u>情報処理の基礎(選シス)</u> <u>基礎英語Ⅰ(選シス)</u> <u>基礎英語Ⅱ(選シス)</u> 10				10
		一般教育科目群から6科目12単位選択必修	10			12
	一般教育科目群	2				
	外国語コミュニケーション科目群	外国語コミュニケーション科目群・スポーツと健康科目群・ キャリア形成科目群から3科目6単位選択必修				
	スポーツと健康科目群 キャリア形成科目群					
専門的科目	必修科目	必修実習	<u>環境調査の基礎および実習</u> 2			2
		自然科学の基礎	<u>基礎数学</u> <u>基礎物理学</u> <u>基礎化学</u> <u>基礎生物学</u> <u>基礎地学</u> 10			10
		環境科学の基礎	<u>気象と水の科学</u> 2			2
		環境科学概論	<u>環境気象学概論</u> <u>環境水文学概論</u> <u>環境情報学概論</u> 6			6
		情報基盤科目		<u>空間情報システムの基礎</u> <u>環境統計学</u> 4		4
		フィールドワーク		<u>フィールドワーク</u> 2		2
		セミナーの基礎			<u>セミナーの基礎</u> 2	2
		セミナー			<u>セミナー</u> 4	4
		卒業研究 (卒業論文含む)			<u>卒業研究指導 (卒業論文含む)</u> 4	4
	専門基礎科目 A群	学部共通科目	専門基礎科目A群学部共通科目から5科目10単位以上選択必修			10
		学科共通科目	専門基礎科目A群学科共通科目から2科目4単位以上選択必修			4
	専門基礎科目 B群	物理	物理学Ⅰ 物理学実験 4	物理学Ⅱ 2		6
		化学	〇〇学Ⅰ 〇〇学実験 4	〇〇学Ⅱ 2		
		生物				
		地学				
		情報				6
	専門科目 A群	環境気象学		気候・気象学 総観気象学 大気循環論 環境気象学実習 8		8
		環境水文学		環境水文学・環境情報学領域から 1領域8単位選択 2 6		
		環境情報学				8
	専門科目 B群	環境気象学特論		気候変動論 大気環境シミュレーション 都市大気環境 6	微気象学 大気環境モニタリング 温暖化と酸性雨 6	12
		環境水文学特論			2単位選択 2	2
		環境情報学特論				
	専門科目 C群	発展学科共通科目		発展学科共通科目/発展学部共通科目から 4科目8単位以上選択 8		8
		発展学部共通科目 環境科学アドバンスト科目				
	自由選択科目		生物と大地の科学 環境生物学概論 地圏環境学概論 6			6
計		48	48	34	4	134

環境システム学科 環境科学アドバンスト科目の受講を目指した気象・水文コースの履修モデル(環境水文学に興味がある場合)

太字・下線は必修科目

区分		1年	2年	3年	4年	計
		科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
教養的科目	フレッシュヤーズ科目群	<u>学修の基礎Ⅰ(選シス)</u> <u>学修の基礎Ⅱ(選シス)</u> <u>情報処理の基礎(選シス)</u> <u>基礎英語Ⅰ(選シス)</u> <u>基礎英語Ⅱ(選シス)</u> 10				10
	一般教育科目群	一般教育科目群から6科目12単位選択必修				12
	外国語コミュニケーション科目群	2	10			
	スポーツと健康科目群	外国語コミュニケーション科目群・スポーツと健康科目群・ キャリア形成科目群から3科目6単位選択必修				
	キャリア形成科目群					
専門的科目	必修科目	必修実習	<u>環境調査の基礎および実習</u> 2			2
		自然科学の基礎	<u>基礎数学</u> <u>基礎物理学</u> <u>基礎化学</u> <u>基礎生物学</u> <u>基礎地学</u> 10			10
		環境科学の基礎	<u>気象と水の科学</u> 2			2
		環境科学概論	<u>環境気象学概論</u> <u>環境水文学概論</u> <u>環境情報学概論</u> 6			6
		情報基盤科目		<u>空間情報システムの基礎</u> <u>環境統計学</u> 4		4
		フィールドワーク		<u>フィールドワーク</u> 2		2
		セミナーの基礎		<u>セミナーの基礎</u> 2		2
		セミナー		<u>セミナー</u> 4		4
		卒業研究 (卒業論文含む)			<u>卒業研究指導 (卒業論文含む)</u> 4	4
	専門基礎科目A群	学部共通科目	専門基礎科目A群学部共通科目から5科目10単位以上選択必修			10
		学科共通科目	専門基礎科目A群学科共通科目から2科目4単位以上選択必修			4
	専門基礎科目B群	化学	化学Ⅰ 化学実験 4	化学Ⅱ 2		6
		物理	〇〇学Ⅰ 〇〇学実験 4	〇〇学Ⅱ 2		
		生物				
		地学				
		情報				6
	専門科目A群	環境水文学		水文環境学 陸水環境学 環境水質化学 環境水文学実験 8		16
		環境気象学		環境水文学・環境情報学領域から 1領域8単位選択 4		8
		環境情報学				6
	専門科目B群	環境水文学特論		水文環境シミュレーション 水質水文学 4	水文環境モニタリング 水文循環とその調査法 4	8
		環境気象学特論		環境水文学特論・環境情報学特論領域から 専門科目A群と同じ1領域6単位選択 6		
		環境情報学特論				
	専門科目C群	発展学科共通科目	発展学科共通科目/発展学部共通科目から 3科目6単位選択 2			
		発展学部共通科目				
		環境科学アドバンスト科目				
	自由選択科目	生物と大地の科学 環境生物学概論 地圏環境学概論 6		6		8
						6
計		48	48	34	4	134

環境システム学科 気象・水文コースの履修モデル(環境水文学に興味がある場合)

太字・下線は必修科目

区分		1年	2年	3年	4年	計	
		科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数		
教養的科目	フレッシュャーズ科目群	学修の基礎Ⅰ(環シス) 学修の基礎Ⅱ(環シス) 情報処理の基礎(環シス) 基礎英語Ⅰ(環シス) 基礎英語Ⅱ(環シス) 10				10	
	一般教育科目群	一般教育科目群から6科目12単位選択必修				12	
	外国語コミュニケーション科目群	2	10				
	スポーツと健康科目群	外国語コミュニケーション科目群・スポーツと健康科目群・ キャリア形成科目群から3科目6単位選択必修					
	キャリア形成科目群						
	2	2	2		6		
専門的科目	必修科目	必修実習	環境調査の 基礎および実習 2			2	
		自然科学の基礎	基礎数学 基礎物理学 基礎化学 基礎生物学 基礎地学 10			10	
			環境科学の基礎	気象と水の科学 2			2
			環境科学概論	環境気象学概論 環境水文学概論 環境情報学概論 6			6
		情報基盤科目		空間情報システムの基礎 環境統計学 4		4	
		フィールドワーク		フィールドワーク 2		2	
		セミナーの基礎			セミナーの基礎 2	2	
		セミナー			セミナー 4	4	
		卒業研究 (卒業論文含む)				卒業研究指導 (卒業論文含む) 4	4
	専門基礎科目 A群	学部共通科目	専門基礎科目A群学部共通科目から5科目10単位以上選択必修			10	
		学科共通科目	専門基礎科目A群学科共通科目から2科目4単位以上選択必修			4	
	専門基礎科目 B群	化学	化学Ⅰ 化学実験 4	化学Ⅱ 2		6	
		物理	〇〇学Ⅰ 〇〇学実験	〇〇学Ⅱ			
		生物					
		地学					
		情報					
	専門科目 A群	環境水文学		水文環境学 陸水環境学 環境水質化学 環境水文学実験			
		環境気象学	環境気象学・環境情報学領域から 領域8単位選択				
		環境情報学					
	専門科目 B群	環境水文学特論	水文環境シミュレーション 水質水文学 4	水文環境モニタリング 水文循環とその調査法 4	8		
		環境気象学特論		2単位選択			
		環境情報学特論					
	専門科目 C群	発展学科共通科目	発展学科共通科目/発展学部共通科目から 4科目8単位以上選択			2	
		発展学部共通科目					
		環境科学アドバンスト科目					
	自由選択科目	生物と大地の科学 環境生物学概論 地圏環境学概論 6		8		8	
						6	
	計		48	44	34	4	130

環境システム学科 環境科学アドバンスト科目の受講を目指した生物・地球コースの履修モデル(環境生物学に興味がある場合)

太字・下線は必修科目

区分		1年	2年	3年	4年	計	
		科目名	科目名	科目名	科目名		
		単位数	単位数	単位数	単位数		
教養的科目	フレッシュャーズ科目群	学修の基礎Ⅰ(選シス) 学修の基礎Ⅱ(選シス) 情報処理の基礎(選シス) 基礎英語Ⅰ(選シス) 基礎英語Ⅱ(選シス) 10				10	
	一般教育科目群	一般教育科目群から6科目12単位選択必修				12	
	外国語コミュニケーション科目群	外国語コミュニケーション科目群・スポーツと健康科目群・ キャリア形成科目群から3科目6単位選択必修					
	スポーツと健康科目群						
	キャリア形成科目群						
			2	4			6
必修科目	必修実習	環境調査の 基礎および実習				2	
		2					
	自然科学の基礎	基礎数学 基礎物理学 基礎化学 基礎生物学 基礎地学 10				10	
		生物と大地の科学				2	
		2					
	環境科学概論	環境生物学概論 地圏環境学概論 環境情報学概論 6				6	
		情報基盤科目		空間情報システムの基礎 環境統計学 4			4
	フィールドワーク			フィールドワーク 2			2
	セミナーの基礎		セミナーの基礎 2			2	
	セミナー		セミナー 4			4	
	卒業研究 (卒業論文含む)				卒業研究指導 (卒業論文含む) 4	4	
	専門基礎科目 A群	学部共通科目	専門基礎科目A群学部共通科目から5科目10単位以上選択必修				10
		学科共通科目	専門基礎科目A群学科共通科目から2科目4単位以上選択必修				4
専門基礎科目 B群	生物	生物学Ⅰ 生物学実験 4	生物学Ⅱ 2			6	
	物理	〇〇学Ⅰ 〇〇学実験	〇〇学Ⅱ				
	化学						
	地学						
	情報						
専門科目 A群	環境生物学		生態系の機能 植物と環境 動物と環境 環境生物学実習 8			8	
	環境地学		環境地学・環境情報学領域から 1領域8単位選択			8	
	環境情報学						
専門科目 B群	環境生物学特論			生物圏の歴史と人間活動 生物の多様性 生物間の相互作用 6		6	
	環境地学特論		環境地学特論・環境情報学特論領域から 専門科目A群と同じ1領域6単位選択			6	
	環境情報学特論						
専門科目 C群	発展学科共通科目		発展学科共通科目/発展学部共通科目から 3科目6単位以上選択				
	発展学部共通科目						
	環境科学アドバンスト科目		環境生物学アドバンスト 2			8	
自由選択科目	気象と水の科学 環境気象学概論 環境水文学概論 6		6			6	
計		48	50	30	4	132	

環境システム学科 生物・地球コースの履修モデル(環境生物学に興味がある場合)

太字・下線は必修科目

区分		1年	2年	3年	4年	計	
		科目名	科目名	科目名	科目名		
		単位数	単位数	単位数	単位数		
教養的科目	フレッシュヤーズ科目群	学修の基礎Ⅰ(環シス) 学修の基礎Ⅱ(環シス) 情報処理の基礎(環シス) 基礎英語Ⅰ(環シス) 基礎英語Ⅱ(環シス) 10				10	
	一般教育科目群	一般教育科目群から6科目12単位選択必修				12	
	外国語コミュニケーション科目群	外国語コミュニケーション科目群・スポーツと健康科目群・ キャリア形成科目群から3科目6単位選択必修					
	スポーツと健康科目群						
	キャリア形成科目群						
		2	4			6	
専門的科目	必修科目	必修実習	環境調査の 基礎および実習	2			2
			基礎数学 基礎物理学 基礎化学 基礎生物学 基礎地学 10				10
		環境科学の基礎	生物と大地の科学 2				2
		環境科学概論	環境生物学概論 地圏環境学概論 環境情報学概論 6				6
		情報基盤科目		空間情報システムの基礎 環境統計学 4			4
		フィールドワーク		フィールドワーク 2			2
		セミナーの基礎			セミナーの基礎 2		2
		セミナー			セミナー 4		4
		卒業研究 (卒業論文含む)				卒業研究指導 (卒業論文含む) 4	4
	専門基礎科目 A群	学部共通科目	専門基礎科目A群学部共通科目から5科目10単位以上選択必修				10
		学科共通科目	専門基礎科目A群学科共通科目から2科目4単位以上選択必修				4
	専門基礎科目 B群	生物	生物学Ⅰ 生物学実験 4	生物学Ⅱ 2			6
		物理	〇〇学Ⅰ 〇〇学実験 4	〇〇学Ⅱ 2			
		化学					
		地学					
		情報					
	専門科目 A群	環境生物学		生態系の機能 植物と環境 動物と環境 環境生物学実習 8			8
		環境地学		環境地学・環境情報学領域から 1領域8単位選択			
		環境情報学					
	専門科目 B群	環境生物学特論			生物圏の歴史と人間活動 生物の多様性 生物間の相互作用 6		6
		環境地学特論		環境地学特論・環境情報学特論領域から 専門科目A群と同じ1領域6単位選択			
		環境情報学特論					
	専門科目 C群	発展学科共通科目	発展学科共通科目/発展学部共通科目から 4科目8単位以上選択				
		発展学部共通科目					
		環境科学アドバンスト科目					
	自由選択科目	気象と水の科学 環境気象学概論 環境水文学概論			8		8
		6	0	0			6
	計		48	48	32	4	132

環境システム学科 環境科学アドバンスト科目の受講を目指した生物・地球コースの履修モデル(環境地学に興味がある場合)

太字・下線は必修科目

区分		1年	2年	3年	4年	計		
		科目名	科目名	科目名	科目名			
		単位数	単位数	単位数	単位数			
教養的科目	フレッシュャーズ科目群	学修の基礎Ⅰ(環シス) 学修の基礎Ⅱ(環シス) 情報処理の基礎(環シス) 基礎英語Ⅰ(環シス) 基礎英語Ⅱ(環シス) 10				10		
	一般教育科目群	一般教育科目群から6科目12単位選択必修 210				12		
	外国語コミュニケーション科目群	外国語コミュニケーション科目群・スポーツと健康科目群・ キャリア形成科目群から3科目6単位選択必修						
	スポーツと健康科目群							
	キャリア形成科目群							
専門的科目	必修科目	必修実習	環境調査の 基礎および実習 2	4		6		
		自然科学の基礎	基礎数学 基礎物理学 基礎化学 基礎生物学 基礎地学 10			10		
			環境科学の基礎	生物と大地の科学 2			2	
			環境科学概論	環境生物学概論 地圏環境学概論 環境情報学概論 6			6	
				情報基盤科目	空間情報システムの基礎 環境統計学 4			4
		フィールドワーク		フィールドワーク 2			2	
		セミナーの基礎	セミナーの基礎 2			2		
		セミナー	セミナー 4			4		
		卒業研究 (卒業論文含む)			卒業研究指導 (卒業論文含む) 4	4		
		専門基礎科目 A群	学部共通科目	専門基礎科目A群学部共通科目から5科目10単位以上選択必修 64				10
			学科共通科目	専門基礎科目A群学科共通科目から2科目4単位以上選択必修 22				4
		専門基礎科目 B群	地学	地学Ⅰ 地学実験 4	地学Ⅱ 2			6
	物理学		〇〇学Ⅰ 〇〇学実験 4	〇〇学Ⅱ 2				
	化学							
	生物学							
	情報							
	専門科目 A群	環境地学		環境地質学 環境地形学 固体地球環境化学 地圏環境学実習 8			8	
		環境生物学		環境生物学・環境情報学領域から 1領域8単位選択 26				
		環境情報学						
	専門科目 B群	環境地学特論		防災地圏環境学 固体地球物質環境学 環境同位体化学 環境分析化学 この中から3科目6単位選択 6			6	
			環境生物学特論 環境情報学特論	環境生物学特論・環境情報学特論領域から 専門科目A群と同じ1領域6単位選択 6			6	
		専門科目 C群	発展学科共通科目 発展学部共通科目 環境科学アドバンスト科目	発展学科共通科目/発展学部共通科目から 3科目6単位以上選択 26				8
			自由選択科目	気象と水の科学 環境気象学概論 環境水文学概論 6		6		6
	計		48	50	30	4	132	

環境システム学科 生物・地球コースの履修モデル(環境地学に興味がある場合)

太字・下線は必修科目

区分		1年	2年	3年	4年	計
		科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
教養的科目	フレッシュヤーズ科目群	<u>学修の基礎Ⅰ(選シス)</u> <u>学修の基礎Ⅱ(選シス)</u> <u>情報処理の基礎(選シス)</u> <u>基礎英語Ⅰ(選シス)</u> <u>基礎英語Ⅱ(選シス)</u> 10				10
	一般教育科目群	一般教育科目群から6科目12単位選択必修				12
	外国語コミュニケーション科目群	2	10			
	スポーツと健康科目群	外国語コミュニケーション科目群・スポーツと健康科目群・ キャリア形成科目群から3科目6単位選択必修				
	キャリア形成科目群					
専門的科目	必修科目	2	4			6
		<u>環境調査の基礎および実習</u> 2				2
		<u>基礎数学</u> <u>基礎物理学</u> <u>基礎化学</u> <u>基礎生物学</u> <u>基礎地学</u> 10				10
		<u>生物と大地の科学</u> 2				2
		<u>環境生物学概論</u> <u>地圏環境学概論</u> <u>環境情報学概論</u> 6				6
			<u>空間情報システムの基礎</u> <u>環境統計学</u> 4			4
			<u>フィールドワーク</u> 2			2
				<u>セミナーの基礎</u> 2		2
				<u>セミナー</u> 4		4
					<u>卒業研究指導(卒業論文含む)</u> 4	4
	専門基礎科目A群	学部共通科目	専門基礎科目A群学部共通科目から5科目10単位以上選択必修			10
		学科共通科目	専門基礎科目A群学科共通科目から2科目4単位以上選択必修			4
	専門基礎科目B群	地学Ⅰ 地学実験 4	地学Ⅱ 2			6
		物理学				
		化学	〇〇学Ⅰ 〇〇学実験	〇〇学Ⅱ		
		生物学				
		情報	4	2		6
	専門科目A群	環境地学	環境地質学 環境地形学 固体地球環境化学 地圏環境学実習 8			8
		環境生物学		環境生物学・環境情報学領域から 1領域3単位選択		
		環境情報学		2	6	8
	専門科目B群	環境地学特論		防災地圏環境学 固体地球物質環境学 環境同位体化学 環境分析化学 この中から3科目6単位選択		6
		環境生物学特論		環境生物学特論・環境情報学特論領域から 専門科目A群と同じ1領域6単位選択		6
		環境情報学特論		6		6
	専門科目C群	発展学科共通科目	発展学科共通科目/発展学部共通科目から 4科目8単位選択			8
		発展学部共通科目				
		環境科学アドバンスト科目				
	自由選択科目	気象と水の科学 環境気象学概論 環境水文学概論 6				6
		48	48	32	4	132

令和2(2020)年度 生物・地球コース

学籍番号: 氏名:

時間割作成テンプレート(提出・申請用紙ではないので注意すること)

第1期	月	火	水	木	金	土
時限	講義名	講義名	講義名	講義名	講義名	講義名
1限 9:00-10:30	情報処理の基礎A(A102) 情報処理の基礎B(A104) (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞		基礎英語ⅠA 基礎英語ⅠD (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞	生物と大地の科学	基礎生物学	基礎英語ⅠA 基礎英語ⅠD (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞
2限 10:40-12:10			基礎英語ⅠB (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞	基礎化学		基礎英語ⅠB (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞
3限 12:50-14:20	学修の基礎Ⅰ(A203)(後半) 【 <u>通年集中</u> 】 <u>【ただし、履修登録単位数合計(48単位)の中に含まれる】</u> ＜フレッシュャーズ科目群＞		マッブリーディング(資格:測量士補) 基礎英語ⅠC (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞	教育心理学C or 博物館概論A	教育学の基礎C(平成31年度以降入学生)	基礎英語ⅠC (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞
4限 14:30-16:00	基礎地学			基礎物理学		
5限 16:10-17:40	基礎数学 A 基礎数学 B (クラス分け結果を確認すること)			教育学の基礎B(平成31年度以降入学生) or 博物館概論B	環境調査の基礎および実習	

第2期	月	火	水	木	金	土
時限	講義名	講義名	講義名	講義名	講義名	講義名
1限 9:00-10:30			基礎英語ⅡA 基礎英語ⅡD (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞	基礎化学(再履修)	物理学Ⅰ	基礎英語ⅡA (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞
2限 10:40-12:10	生徒理解と教育相談A／生活指導の研究ⅠA	環境生物学概論	基礎英語ⅡB (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞		環境情報学概論	基礎英語ⅡB (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞
3限 12:50-14:20	基礎数学(再履修)	地図環境学概論	基礎英語ⅡC (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞	生物学I 博物館教育論B 生徒理解と教育相談C/生活指導の研究IC	教職概論C／教育職の研究C 地学Ⅰ	基礎英語ⅡC 基礎英語ⅡD (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュャーズ科目群＞
4限 14:30-16:00		化学Ⅰ		教職概論A／教育職の研究A 基礎物理学(再履修)		
5限 16:10-17:40	基礎地学(再履修)	基礎生物学(再履修) 博物館教育論A	環境情報数学Ⅰ			

週授業外科目 (集中講義など)	学修の基礎Ⅱ 【1期集中】 <u>【ただし、履修登録単位数合計(48単位)の中に含まれる】</u> ＜フレッシュャーズ科目群＞	学修の基礎Ⅰ(1期前半＋後期卒論発表会) 【 <u>通年集中</u> 】 <u>【ただし、履修登録単位数合計(48単位)の中に含まれる】</u> ＜フレッシュャーズ科目群＞			
--------------------	---	--	--	--	--

今年度修得予定単位数			卒業基準単位数(最小限)	
教養的科目	フレッシュャーズ科目群	10	／10単位	
	一般教育科目群		／12単位	
	外国語コミュニケーション科目群		／6単位	
	スポーツと健康科目群			
専門的科目 98単位	キャリア形成科目群		／36単位	
	必修科目	20	／10単位 学部共通科目10単位選択必修	
	専門基礎科目A群		／4単位 学科共通科目4単位選択必修	
	専門基礎科目B群		／6単位 1領域6単位選択必修	
	専門科目A群	0	／8単位 1領域8単位選択必修	
	専門科目B群		／6単位 専門科目A群と同一領域6単位選択必修	
	専門科目C群	0	／8単位 発展学部共通科目,発展学科共通科目8単位選択必修	
	自由選択科目		自由選択(0単位でも良い)	
合計			／126単位	

区分	単位数	
	卒業&集中(48単位の中)	資格&集中(48単位の外)
	1期(1期履修登録上限単位数:28単位) (学修の基礎ⅠとⅡを含む)	21 +
	1期(2期履修登録上限単位数:28単位) (学修の基礎Ⅰを含む)	9 +
週授業外科目(集中講義など(学修の基礎ⅠとⅡを除く))	0 +	
↓ ↓		
年間履修登録上限単位数(48単位):	合計:48単位まで ①	48単位を超えることが可能 ②
↓		
合計(①+②):		

※ 基礎英語Ⅰ・Ⅱは、週2回授業(水・土)。単位数:基礎英語Ⅰ(2単位)、基礎英語Ⅱ(2単位)。クラス分け(A～D)結果を確認して時間割に記入すること。

※ 環境科学アドバンスト科目の受講希望者は、① フレッシュャーズ科目群(「学修の基礎Ⅰ」、「学修の基礎Ⅱ」、「情報処理の基礎」、「基礎英語Ⅰ」、「基礎英語Ⅱ」)5科目10単位修得済み。② 「環境調査の基礎および実習」2単位修得済み。

③ 「基礎数学」、「基礎物理学」、「基礎化学」、「基礎生物学」、「基礎地学」5科目10単位修得済み。④ 「物理学実験」、「化学実験」、「生物学実験」、「地学実験」、「環境情報数学演習Ⅰ」のうち2科目4単位以上修得済み。

⑤ 「生物と大地の科学」、「気象と水の科学」、「環境生物学概論」、「地図環境学概論」、「環境情報学概論」、「環境気象学概論」、「環境水文学概論」、「環境情報数学Ⅰ」(2期・水5)から、6科目(12単位)以上修得済み。⑥ ①～⑤の科目から、合計で20科目(40単位)以上を履修すること。また、1年次終了時点のGPAが2.75以上。さらに、「環境生物学概論」、「地図環境学概論」、「環境気象学概論」、「環境水文学概論」、「環境情報学概論」のいずれかにおいて1年生の中で成績上位10位以内。

※ 年間履修登録上限単位数は48単位。ただし、2019年度時間割表の「開講期」および「備考」欄に、「資格」、「通年集中」、「1期集中」と明記されている科目は48単位の制限を超えて履修できる(ただし、「学修の基礎Ⅰ」、「学修の基礎Ⅱ」は、48単位の制限の中に含まれる)。

※ 1期で「基礎〇〇学」が不合格となった場合は、必ず、2期の該当する科目の再履修クラスを受講する。

もし、1期の履修登録で48単位まで登録してある場合は、必修科目とフレッシュャーズ科目以外の科目などを削除し、2期の履修登録期間に該当する再履修クラスを追加で履修申請する。

令和2(2020)年度 気象・水文コース

学籍番号: 氏名:

時間割作成テンプレート(提出・申請用紙ではないので注意すること)

第1期	月	火	水	木	金	土
時限	講義名	講義名	講義名	講義名	講義名	講義名
1限 9:00-10:30	情報処理の基礎A(A102) 情報処理の基礎B(A104) (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞	気象と水の科学	基礎英語ⅠA 基礎英語ⅠD (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞		基礎生物学	基礎英語ⅠA 基礎英語ⅠD (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞
2限 10:40-12:10			基礎英語ⅠB (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞ マッブリーディング(資格:測量士補)	基礎化学		基礎英語ⅠB (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞
3限 12:50-14:20	学修の基礎Ⅰ(A203)(後半) 【通年集中】【ただし、履修登録単位数合計 (48単位)の中に含まれる】 ＜フレッシュヤーズ科目群＞		基礎英語ⅠC (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞	教育心理学C or 博物館概論A	教育学の基礎C(平成31年度以降入学生)	基礎英語ⅠC (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞
4限 14:30-16:00	基礎地学			基礎物理学		
5限 16:10-17:40	基礎数学 A 基礎数学 B (クラス分け結果を確認すること)			教育学の基礎B(平成31年度以降入学生) or 博物館概論B	環境調査の基礎および実習	

第2期	月	火	水	木	金	土
時限	講義名	講義名	講義名	講義名	講義名	講義名
1限 9:00-10:30		環境気象学概論	基礎英語ⅡA 基礎英語ⅡD (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞	基礎化学(再履修)	物理学Ⅰ	基礎英語ⅡA (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞
2限 10:40-12:10	生徒理解と教育相談A／生活指導の研究ⅠA		基礎英語ⅡB (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞	環境水文学概論	環境情報学概論	基礎英語ⅡB (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞
3限 12:50-14:20	基礎数学(再履修)		基礎英語ⅡC (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞	生物学I 博物館教育論B 生徒理解と教育相談C/生活指導の研究IC	教職概論C／教育職の研究C 地学Ⅰ	基礎英語ⅡC 基礎英語ⅡD (クラス分け結果を確認すること) ＜フレッシュヤーズ科目群＞
4限 14:30-16:00		化学Ⅰ		教職概論A／教育職の研究A 基礎物理学(再履修)		
5限 16:10-17:40	基礎地学(再履修)	基礎生物学(再履修) 博物館教育論A	環境情報数学Ⅰ			

週授業外 科目 (集中 講義など)	学修の基礎Ⅱ 【1期集中】【ただし、履修登録単位数合計 (48単位)の中に含まれる】 ＜フレッシュヤーズ科目群＞	学修の基礎Ⅰ(1期前半＋後期卒論発表会) 【通年集中】【ただし、履修登録単位数合計 (48単位)の中に含まれる】 ＜フレッシュヤーズ科目群＞				
----------------------------	---	---	--	--	--	--

今年度修得予定単位数		卒業基準単位数(最小限)	
教養的 科目	フレッシュヤーズ科目群	10	／10単位
	一般教育科目群		／12単位
	外国語コミュニケーション科目群		／6単位
	スポーツと健康科目群		
専門的 科目 98単位	キャリア形成科目群		
	必修科目	20	／36単位
	専門基礎科目A群		／10単位 学部共通科目10単位選択必修
			／4単位 学科共通科目4単位選択必修
	専門基礎科目B群		／6単位 1領域6単位選択必修
	専門科目A群	0	／8単位 1領域8単位選択必修
	専門科目B群		／6単位 専門科目A群と同一領域6単位選択必修
	専門科目C群	0	／8単位 発展学部共通科目・発展学科共通科目8単位選択必修
	自由選択科目		自由選択(0単位でも良い)
合計			／126単位

区分	単位数	
	卒業&集中(48単位の中)	資格&集中(48単位の外)
1期(1期履修登録上限単位数:28単位) (学修の基礎ⅠとⅡを含む)	21 +	
1期(2期履修登録上限単位数:28単位) (学修の基礎Ⅰを含む)	9 +	
週授業外科目(集中講義など(学修の基礎ⅠとⅡを除く))	0 +	
年間履修登録上限単位数(48単位):	合計:48単位まで	48単位を超えることが可能
	①	②
合計(①+②):		

※ 基礎英語Ⅰ・Ⅱは、週2回授業(水・土)。単位数:基礎英語Ⅰ(2単位)、基礎英語Ⅱ(2単位)。クラス分け(A～D)結果を確認して時間割に記入すること。
※ 環境科学アドバンスト科目の受講希望者は、① フレッシュヤーズ科目群(「学修の基礎Ⅰ」、「学修の基礎Ⅱ」、「情報処理の基礎」、「基礎英語Ⅰ」、「基礎英語Ⅱ」)5科目10単位修得済み。② 「環境調査の基礎および実習」2単位修得済み。
③ 「基礎数学」、「基礎物理学」、「基礎化学」、「基礎生物学」、「基礎地学」5科目10単位修得済み。④ 「物理学実験」、「化学実験」、「生物学実験」、「地学実験」、「環境情報数学演習Ⅰ」のうち2科目4単位以上修得済み。
⑤ 「生物と大地の科学」、「気象と水の科学」、「環境生物学概論」、「地圏環境学概論」、「環境情報学概論」、「環境気象学概論」、「環境水文学概論」、「環境情報数学Ⅰ」(2期・水5)から、6科目(12単位)以上修得済み。⑥ ①～⑤の科目から、合計で20科目(40単位)以上を履修すること。また、1年次終了時点のGPAが2.75以上。さらに、「環境生物学概論」、「地圏環境学概論」、「環境気象学概論」、「環境水文学概論」、「環境情報学概論」のいずれかにおいて1年生の中で成績上位10位以内。
※ 年間履修登録上限単位数は48単位。ただし、2020年度時間割表の「開講期」および「備考」欄に、「資格」、「通年集中」、「1期集中」と明記されている科目は48単位の制限を超えて履修できる(ただし、「学修の基礎Ⅰ」、「学修の基礎Ⅱ」は、48単位の制限の中に含まれる)。
※ 1期で「基礎〇〇学」が不合格となった場合は、必ず、2期の該当する科目の再履修クラスを受講する。
もし、1期の履修登録で48単位まで登録してある場合は、必修科目とフレッシュヤーズ科目以外の科目などを削除し、2期の履修登録期間に該当する再履修クラスを追加で履修申請する。

基礎実験・専門実験希望調査について

基礎実験（2期：物理学実験、科学実験 A/B、生物学実験 A/B、地学実験 A/B）は、実験器具の数などの関係で、履修人数を調整します。そのため、履修を希望するクラスの調査アンケートを実施します。詳細については、環境システム学科ホームページにお知らせを掲示しますので、定期的にチェックしてください。

専門科目 A 群の実験科目（環境生物学実習、地圏環境学実習、環境気象学実習、環境水文学実験、空間情報システム実習）についても、履修人数把握のためにアンケートを実施します。こちらも、学科ホームページにお知らせを掲示します。

以上

実験室・器具などの利用時の注意事項

実験室や実験器具は多くの学生が共同で利用します。安全に心地良く実習・実験などを行うためにも、以下の注意事項を守ってください。利用状況が悪い場合には、実験室の利用を禁止する場合がありますので、十分注意をして利用してください。

※ 個別の観測器具、実験器具、測器などについて利用する場合には、実験機器の担当教員の指示に従い実験を行ってください。

1. 実験室利用の諸注意

- 実験室内での飲食は禁止。休み時間などに飲料水を飲む場合には、教室の外（廊下）でおこなうこと。
- 実験時は整理整頓に注意する。余計なものは室内に持ち込まない。
- 実験を行う際には、白衣を着用すること。
- 実験室 A、B、C などの利用は授業を最優先とする。卒業研究などで実験室を利用する場合には、授業の妨げにならないように注意する。
- 実験室に備えられている器具や大型機器などを利用する場合には、実験室や大型機器を管理する教員にあらかじめ許可を得ること。
- 実験中に器具の破損や事故が生じた場合には、速やかに担当教員に連絡する。
- 実験室に設置されている器具（ガラス器具など）を部屋から持ち出して利用する場合には、あらかじめ担当教員に必ず許可を得た上で、貸出ノートに必要事項を記録する。返却時にはきちんと洗浄し、担当教員の確認を得た上で、元の位置に戻すこと。
- 実験の際に生じた廃液は「酸」、「アルカリ」に分別して、専用の容器の中に入れること。廃液の水位は容器に記入してある線よりも下になるようにする。有機系の廃液が生じた場合には教員に相談し、別途容器の中に保存する。
- 授業や実験で部屋を利用した後は、部屋の掃除をしっかりと行う。床が特に汚れた場合には、モップを利用して汚れを落とす。各机にあるゴミ箱のゴミは、実験室外の大きなゴミ箱にまとめる。
- 各実験室の利用時間は、原則として、9 時～21 時までとする。その以外の時間帯（21 時～8 時、休日、祭日）での利用は、必ず、事前に担当教員の許可を得て、利用申請届を提出すること。

2. 実験用器具の利用時の注意

- 利用したことのない器具、あるいは利用法の説明を受けたことのない器具については、勝手に利用してはならない（事故や器具の破損に繋がる恐れがあるため）。
- 実験用の器具は丁寧に扱う。落としたりぶつけたりしてはならない。
- 実験で利用した器具はきちんと掃除をする。利用後は元の場所に戻す。

3. 天秤室利用の注意

天秤室（1階化学実験室奥）の天秤や、他の実験室に設置されている天秤を利用する場合には、以下の事柄に注意をする。

- 使用に際しては備え付けの使用記録簿に学籍番号、氏名、使用目的を明記すること。
- 天秤は分析の基本となる精密機械であり、心を落ち着けて静かに使用すること。
- 天秤の周囲は常に清潔にし、万一試薬をこぼした時は速やかに除去し清掃すること。
- 使用した試薬、薬包紙、薬さじ、測定した試料などを放置することは厳禁。
- 天秤室内に個人の試料を放置することも厳禁。
- 電子天秤使用中に薬品（液体薬品を含む）をこぼしてしまった場合は速やかに、指導教員もしくは管理責任者に連絡すること。

4. 機材室（1階）の利用について

- 機材室の物品をセミナーやフィールドワークで使用する場合は、返却時に整理・整頓に心がけること。
- 1階の実験機材室には、大型の測器やスコープ、長靴など、実習に必要な道具が保管されている。授業以外でこれらを利用する場合には、ノートの必要事項を記入したうえ、教員の許可を得ること。
- 使用後はきちんと掃除をして、元にあった場所に返却する。
- 機材室にあるヒーター（乾燥器）を利用する場合には、利用者の氏名（研究室名）といつまで使用するのかを明記したメモをわかりやすい場所に添付すること。乾燥後の試料はそのまま放置してはならない。

5. その他注意事項

- 地球環境科学部の施設・物品は、学生の教育の為に整えられているものである。不特定多数の人が利用するため、常に次に使用する人のことを考えて、掃除や整理・整頓に心がけなければならない。学生である以前に人としてきちんとルールを守る姿勢を身につけるべきである。
- 大型機器を利用する際には、必ず、「大型機器説明会」に出席し、各機器別の講習会に参加すること。また、利用する際には、必ず、担当教員の許可を得た上で、使用すること。無断使用は固く禁ずる。

野外調査における注意事項

立正大学地球環境科学部環境システム学科

1. 調査計画

- ✓ 調査を行う際は、調査日程・調査場所・調査メンバー・調査方法等について、事前に指導教員と打ち合わせを行う。
また、緊急時の連絡方法について確認しておく。
- ✓ 日程的に無理な調査計画は立案せず、余裕をもったスケジュールを作る。
- ✓ 調査場所については、往路・復路のルート確認や危険箇所の有無について事前に調べておく。
- ✓ 調査は原則として複数名で行うこととし、互いの連絡方法を確立しておく。
- ✓ 学生証を携帯し、何かあれば明示できるようにする。
- ✓ 持病や服用すべき常備薬がある場合は指導教員に届け出る。
- ✓ 雪道を通過する場合は、防寒や靴・車の滑り止めの準備をしておく。

2. 危険対策

- ✓ 事前に危険な地点（自然条件、交通条件、治安）を確認しておく。
- ✓ 保健室から救急箱を借り出して用意しておく。また、簡便な対処が可能なように、消毒液やカットバンなどは常に携帯しておく。
- ✓ 調査地域に出現する危険生物については事前に調べておき、その対処方法を用意しておく（ヘビやハチなどに刺された際のポイズンリムーバーや助けを呼ぶための笛の携帯など）。
- ✓ 毒虫に刺されないように、不必要に肌を露出した服装は避ける。
- ✓ 自然災害（地震津波、山火事、落雷）に備えて、調査地における避難場所を確認しておく。
- ✓ 最低限必要な食料は携帯しておく。

3. 法令遵守

- ✓ 事前に、立ち入り禁止、採取禁止、アンケート禁止、写真撮影禁止、測定機器設置禁止などの禁止事項を確認しておく。許可が必要な場合は許可を取得し、許可証を携帯する。
- ✓ 調査対象が国や地方自治体で記念物や文化財に指定されていないか確認しておく。
- ✓ むやみに私有地に入り込まず、必ず許可を得てから立ち入るようにする。
- ✓ 調査に際して世話になった方には真筆に対応し、礼を述べる。

4. 突発的な対応

- ✓ 地震、津波、気象災害、火災などに遭遇した場合は、直ちに安全を確保すると共に学部・学科・教員へ連絡する。
- ✓ 自らが事故を起こした場合についても速やかに連絡する。
- ✓ 盗難や紛失などの対策として貴重品や現金等の管理を徹底し、事件の際には速やかに警察に連絡する。